

地域医療連携室だより Vol. 104

消化器内科

の紹介

診療局長/消化器内科診療部長 若林 直樹

平素より地域の先生方におかれましては、市立大津市民病院の地域医療連携に格別のご理解、ご協力をいただきありがとうございます。消化器内科・消化器内視鏡センターの診療におきましても、地域の先生方との診療連携は、最も大切な大きな柱です。さらなる連携強化のため、診療内容について、最近のトピックスを交え紹介させていただきます。

現在、片岡慶正院長・理事長を含め、12名のスタッフでの診療を行っています。



あらゆる消化器疾患に 24 時間 365 日対応できる体制



すべての外来診療日に、3名以上の専門医（日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会）が診療にあたる体制をとっています。患者様の病状に併せて専門担当医が診療させていただきますので、地域医療連携室を通じて、ご予約いただければと存じます。予約時間外でありましても、地域医療連携室にご連絡いただければ、臨機応変に対応致します。また夜間、休日におきましても、当院の“ER おおつ（救急外来）や外科と密に連携し、常時対応します。消化器内視鏡センターでは、医師2名、看護師1名の万全のオンコール体制を敷いていますので、消化管出血や急性胆管炎といった救急疾患に対しても、迅速かつ安全に緊急処置を行っております。

患者に優しいチーム医療体制



“すべては Patient-oriented であること”これがわれわれのモットーです。

2015年9月より、内視鏡システムを一新し最先端の機器を用いて診療にあたっています。より正確な診断を基に、消化管がんに対する内視鏡的治療（最も低侵襲）に積極的に取り組み、患者のQOLに貢献しております。また最新の血管造影装置による肝疾患や消化管出血に対しても、IVR治療を行っております。

最近増加している大腸がんでは、症状があっても、内視鏡検査のハードルが高く受診されず手遅れとなったケースをしばしば経験したなかで、より侵襲の少なく患者に優しいといわれる大腸CT検査を積極的に導入しております。昨年末から配布しております“大腸CT通信”を是非ご覧下さい。

また最も難治性のがんである膵臓がんに対して、超音波内視鏡検査をはじめとする精度の高い検査を行い、早期膵がんの症例も見つかってきています（当科中島潤医師がこれらの検討を2017年10月福岡でのJDDWで発表）。2017年11月より県内初の“膵がん検診”を開始した本院健診センターとも連携し、ひとりでも多くの膵がん患者を救いたいと日々診療にあたっています。糖尿病コントロールの急な悪化や腹部エコー検査で軽度主膵管の拡張といった少しでも気になる所見がみられた患者様につきましては、是非ともご紹介いただければと存じます。

少しでも地域の患者様、先生方のお役に立てるよう、お力になれるよう頑張りますので、今後ともより一層のご指導、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



こんな看護をしています

一 認定看護師の紹介

感染管理認定看護師 松下 弘美



病棟勤務をしながら兼任の感染管理認定看護師として、活動を実践しています。感染対策の実践者は、患者様に関わる全ての職員であり、その職員を支える役割が感染管理認定看護師であると考えています。

そのため、感染対策に必要な環境を整え、職員の知識が向上できるよう活動しています。兼任という立場であるため、現場に近いというメリットを活かし、個人への教育も意識しながら行っています。特に、感染対策の基本である手指衛生については、正しいタイミングでの実施ができるようWHOの「手指衛生の5つタイミング」に従い指導しています。誰もが当たり前「トイレの後に手を洗う」ように、病院での手指衛生も当然の行為となるよう目指しています。



近年、日本人の海外渡航や訪日外国人旅行者が増え、滋賀県においてもいつ一類感染症が発生するかわからない状況にあります。発生時には、すみやかに受け入れができるよう県や保健所との合同訓練や防護具の着脱トレーニングを実施し、第一種感染症指定医療機関としての役割が果たせるよう取り組んでいます。



感染管理認定看護師
横谷 恵

私は2006年に感染管理認定看護師の資格を取得し、感染管理室で専従の感染管理担当者として勤務しています。感染管理認定看護師の役割は、医療施設を利用する患者様・ご家族はもちろん、現場で働く職員を感染症から守ることです。近年、患者の高齢化や医療の多様化、薬剤耐性菌の問題等により、地域全体における感染症のリスクは高まっており、時に社会的に問題となることもあります。

当院では、2007年より看護専門外来の一つとして、「感染予防外来」を開設しています。当院入院中または外来通院中の患者様を主な対象としていますが、感染対策に関する内容であれば、どなたからでも相談をお受けしています。感染対策の必要性は理解していても、実際に行うことが難しいケースもあります。各々のご施設で感染対策上、お困りのことがございましたら、感染管理認定看護師までご連絡いただければと思います。

感染症病棟訓練 を実施いたしました。



平成29年12月22日(金)12:30~16:30、滋賀県、長浜保健所、当院との合同感染症病棟訓練を実施いたしました。



当院は第一種感染症指定医療機関であり、県内で感染症法における1類・2類感染症患者が発生した場合、感染症病棟(9B)で入院患者を受け入れることになっており、年1回のペースで実地訓練を行っています。



今年度の訓練では、県内で新型インフルエンザの患者が発生したが、患者宅の近隣医療機関での入院受入が困難なため、当院での受入が決定したという設定の元、患者宅と見立てた長浜保健所から当院へアイソレーターによる患者移送が行われました。



当院においては、医師、看護師、事務員が訓練に参加し、関係機関との連絡調整、防護具の着脱、患者の感染症病棟への収容、初期治療などについて訓練を行いました。

当院は今後もこのような訓練を定期的実施し、事態発生時に役割が果たせるよう備えていきます。



市立大津市民病院市民公開講座レポート



テーマ：『これだけは知っておきたい“膵がん診療”』

- ◆日時：平成30年1月16日（火）14時～15時15分
- ◆場所：市立大津市民病院 9階大会議室
- ◆講師：当院理事長/院長/消化器内科 片岡 慶正医師、
当院消化器内科医長 全 圭夏医師
- ◆参加者：92名（院外86名、院内6名）

〈内容〉

片岡講師からは、「なぜ今、膵がん検診が必要か？」と題して、膵がんは初期に特徴的な自覚症状がないこと、死亡率ががんの中でも上位であること、健康診断は早期発見のための手段として有用であり、特に膵がんの罹患リスクが高い場合は勧められることなどが話されました。

全講師からは、「膵がんの診断から治療にいたるまで」と題して、膵臓の解剖や機能、症状、診断のための検査、具体的な治療などについての話がされました。

終了後も説得力のある説明に人間ドックや検査についての問い合わせが相次ぎ、アンケートでは盛りだくさんの内容に時間を惜しむ声もありましたが、多くは「早期発見の必要性を痛感しました。」「いたずらに膵がんを怖がることなく検査を受けてみようと思いました。」等の感想をいただきました。



お世話になります！

私たち、病診/病病連携チームです。



地域の皆様には、平素より大変お世話になり心より感謝申し上げます。

当院の地域医療連携室は本館2階の外来フロアにあり、2017年4月1日より、それまで地域医療連携室として担ってきた入退院支援業務を更にパワーアップさせるため、地域医療連携室/入退院センターとして新たなスタートを切りました。

その中で病診/病病連携チームは、地域の診療所様からの診察・検査の予約と当日の患者様来院窓口業務を中心に、市民向け健康講座の企画・開催、地域医療連携室だよりの発行など様々な業務を行っています。日頃はお電話での対応が主ですが、今回はスタッフ一人ひとりの“声”をお届けいたします。

今後も私たちは日々丁寧な対応を心がけ、少しでも地域の皆様のニーズに応えられるようなチームづくりを目指して参る所存ですのでどうぞよろしくお願いいたします。



青木 真樹

地域医療連携室の庶務係として1月から採用されたばかりの新人です。地域の皆様に頼りにされる地域医療連携室めざし日々がんばってまいります。

山下 礼子

主に病診連携予約受付業務を担当しています。「笑顔」で対応できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

浅田 美奈子

地域医療連携室の皆様が最大限の力が発揮できるよう、室内の庶務業務を担当しています。地域医療連携室だよりのご愛読、宜しく願い致します。



西澤 美早子

主にカウンターで受付業務を担当しています。来院頂きました患者様より直接予約票などを受け取ります。気持ちよく診察に行ってもらえるよう丁寧な対応を心がけています。よろしくお願い致します。

前畑 江里

主に病診連携予約受付業務を担当しています。時々やらかしてしましますが、モットーは“まじめが肝心！”どうぞ宜しくお願い致します。

鹿島 恵

主にカウンターで受付業務を担当しています。土曜日には病診連携予約受付業務も行っています。来院された患者様のご意向を汲み取り、安心してスムーズなご案内ができるように心がけています。よろしくお願い致します。

菊池 美保

主に病診連携予約受付業務を担当しています。顔の見える連携業務と一言一言に心を込めた丁寧な電話対応を心がけています。好きな言葉は“感謝”です。今後共どうぞよろしくお願い申し上げます。

立川 絢子

主に病診連携予約受付業務を担当しています。いつも心に太陽を！！をモットーに何事も丁寧に信頼される仕事をするように心がけています。どうぞよろしくお願い致します。



研修医 note

本年度当院では、19名の研修医（1年目：11名、2年目：8名）を受け入れています。研修プログラムでは、地域の先生方のお世話になることもあると思いますが、このコーナーではそんなフレッシュな研修医をどんどん紹介していきます！



- 1.氏名
坂野 遼(ばんの はるか)
- 2.出身大学と卒業年度
徳島大学 平成28年度卒
- 3.Dr.をめざした理由
人との関わりを多く持てる仕事に就きたかったためです。
- 4.どんなDr.になりたい？
相手の話をよく聞くDr.になりたいです。
- 5.研修を通して感じたこと
社会人は大変だと思いました。
- 6.地域の先生方へのメッセージ
まだまだ実力不足ではありますが宜しくお願い致します。

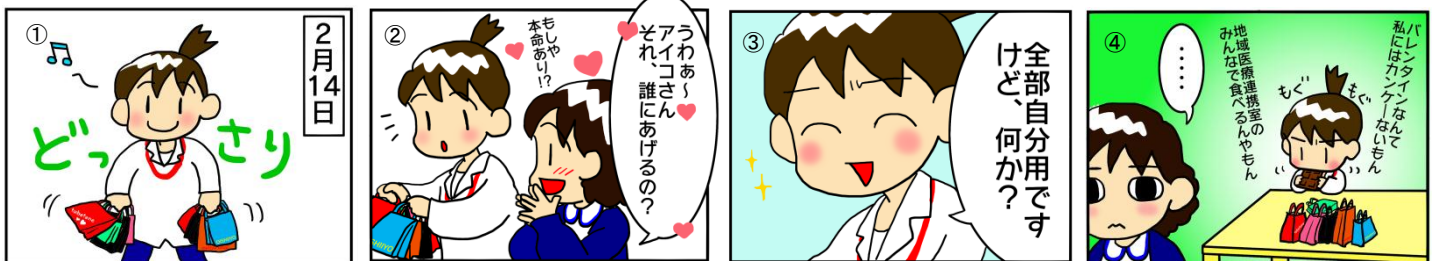


2018

MSW アイコさん



作：まきろん



★研修会等開催のお知らせ★ (参加費・駐車料金：無料)

●NST(栄養サポートチーム)勉強会

2月26日(月) 17時30分～19時

テーマ：「呼吸器疾患と栄養管理」

講師：当院呼吸器内科診療部長 平沼 修

場所：市立大津市民病院 9階会議室3

※ お申し込み・お問い合わせは栄養部 西田まで
TEL：077-526-4607(代表)

●市立大津市民病院大学・健康講座

2月2日(金) 14時～15時

テーマ：「乳がんのホントのことを教えます！」

講師：健診センター診療部長・外科医長 洲崎 聡

場所：市立大津市民病院 9階大会議室

お申し込み・お問い合わせ

市立大津市民病院 2階

地域医療連携室(直接来院またはお電話にて)

TEL:077-526-8192(平日 13:00～17:00)

●総合内科症例検討会

3月1日(木) 17時30分～18時30分

テーマ：未定

症例提示：研修医

場所：市立大津市民病院 9階大会議室

お申し込み・お問い合わせ

市立大津市民病院 2階

地域医療連携室(直接来院またはお電話にて)

TEL:077-526-8192(平日 13:00～17:00)

●市立大津市民病院 市民公開講座

2月23日(金) 14時～15時

テーマ：「これだけは知っておきたい下肢静脈瘤の症状と最新の治療」

講師：心臓血管外科 医長 藤原 克次

場所：市立大津市民病院 9階大会議室

お申し込み・お問い合わせ

市立大津市民病院 2階

地域医療連携室(直接来院またはお電話にて)

TEL:077-526-8192(平日 13:00～17:00)

地域医療連携室より…
今月の一言

『今の幸せに気づくこと』

1月があっという間に過ぎました。日々多忙さに翻弄されていると気持ちまでも疲弊していく一方…。

そんな時はちょっと立ち止まりこの言葉を思い出します。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今の幸せに気づくこと



作：たっていー
イラスト：まきろん